

# 一押し ガルボボール

明治製菓は、昨年四月に明治乳業と経営統合し、三十八年ぶりにロゴマークを変更してから一年余りを経過したが、ようやく新ロゴマークも消費者に認知された。

この秋は①お手、ろ商品②こだわりのリッチな商品③安心のロングセラー商品などをコンセプトに、「ミルクチョココレ」をはじめ、充実のチョコレート商品をラインアップして顧客満足度の向上を図っていく。

長年にわたり、消費者に親しまれ、高い支持を得てロングセラー商品として売れ行きが好調の「ミルクチョココレ」は昨年ロゴマークを変更し、価格帯を一〇〇円に引き上げた。また、「ハイミルクチョココレ」も量販店を中心に前期比一七〇〜一八〇%と大幅に伸長した。

今秋は、テレビCMにはEXILEのヴォーカリストのTAKAHIROを起用して、従来の四十〜六十代の購買層に加えて、若年層の取り込みを狙う。

一押しの新製品は、一口サイズのボール状に焼き上げた口溶けの良い焼き菓子に明治独自に含浸技術でたっぷりチョコレート

を自指し、板チョコレット・小箱チョコレット商品群、ファミリーサイズ商品群の育成開発に取り組んでいく。

今年も、この数年にわたる取り組んできた「板チョコレット」のカテゴリーに力を入れる。事前に行なった卸・小売業へのプレゼンでこの秋に発売する「アーモンドラッシュ」(一〇〇円)が高評価を得て、小箱シリーズの「アルフォートミニチョコレート」との二本柱

段階で100%近い配荷が決まるなど、この秋期待の商品である。

テレビCMのイメージタレントには桐谷美玲を起用し、八月〜十二月まで積極的に投下。また、

## ロツテ

### ガーナ中心に展開

ロッテは、この秋①オアシスナリティー(新たな価値を提案)②ブランド(価値をさらに磨きあげたロングセラー商品を提案)

案③コミュニティショ(家族や友人に分け合える楽しさを届ける)の三点をコンセプトに展開する。

チョコレット群」をリフレッシュする。「ガーナホワイト」は今年から通年販売とし、バレンタインデーにはミルク、ブラックとの三品体制で販売を仕掛けるとともに、手作り(友チョコ)が増えていることから、それに合わせたレシピを提案していく。

ホワイトは、ミルク、ブラック同様に化粧箱に入れられ、ロゴを見やすくした。ブラックは、カカオ豆を変更することで

60gから58gに減量し、モールドの仕様も変更。新製品としては、小倉優子デザイン「チョコサク」(小粒のかわいいチョコレットで、パッケージ正面をめくると、4コマ漫画が楽しめる仕掛け)「マパッケージの両サイドを握ると口がカパッ」と開いて中身が取り出しやすく、連食性の高い「カパッチョ」(香ばしいアーモンド、うま塩キャラメル)など話題性のある商材に注目したい。

## 高岡食品工業

### 個食派チョコ登場

高岡食品工業(株)では、厳しい猛暑の続くなか、七月から八月にかけて開催された問屋主催の秋季見本市での受注活動も活発で好スタートを切っている。同社の主力商品の「ショコラ生チョコ仕立て」(きなこチョコレット)「ショコラキャラメルチョコ」(三〇〇円)、「麦チョコ」(三〇〇円)も八位、九位とベストテンに顔を出している。

伸び率(累計)でみると、「ショコラピナツ」が二七・五%と二位を占めており、以下、「ビックミルクチョコ」(一一・五%)、「コーヒートチョコ玉」(一一・九%)、「ショコラキャラメルチョコ」(一一・二%)と続く。低単価(三〇〇円)「プチャハート」が一・二・九%で五位と健闘している。

この秋の新製品は、個食派のチョコマプチチョコませませ(チョコ、ストロベリー、ホワイトの

トチョコ一五〇円)「わたしのちっちゃなお星さま(ストロベリー&チョコとホワイト&チョコ)とホワイトチョコの二種類の星型チョコレート一五〇円)「マがんばれサッカー」(中に口だけのよいチョコレットが入ったサッカーボール型チョコで新容器入り二千円)の六アイテムを投入するが、なかでも新登場の「個食派のチョコ」


の販売に力を入れていく。食べ切りサイズの小袋入り(五〇円)で、ミルクチョコ、ストロベリーチョコ、ホワイトチョコ、宇治茶チョコ、紅茶チョコの五種類をラインアップ。

新製品は九月一日発売。問屋主催の秋季見本市でも小売業の反応も良く、好調なすべり出しを見せている。

「カレーあられ」も好調に売れている。

け昆布をミックス)も長が年間を通じて好評で、「大判黒豆」「ひび餅昆

良く売れているのは「黒豆」「しょうゆっい」



90g入り

株式会社

東4丁目8番10号  
6-6754-0703